



2022年度献血推進活動

イオンモール株式会社 戦略部ESG推進グループ

Life Design Developer



イオンモール株式会社

2023年1月16日



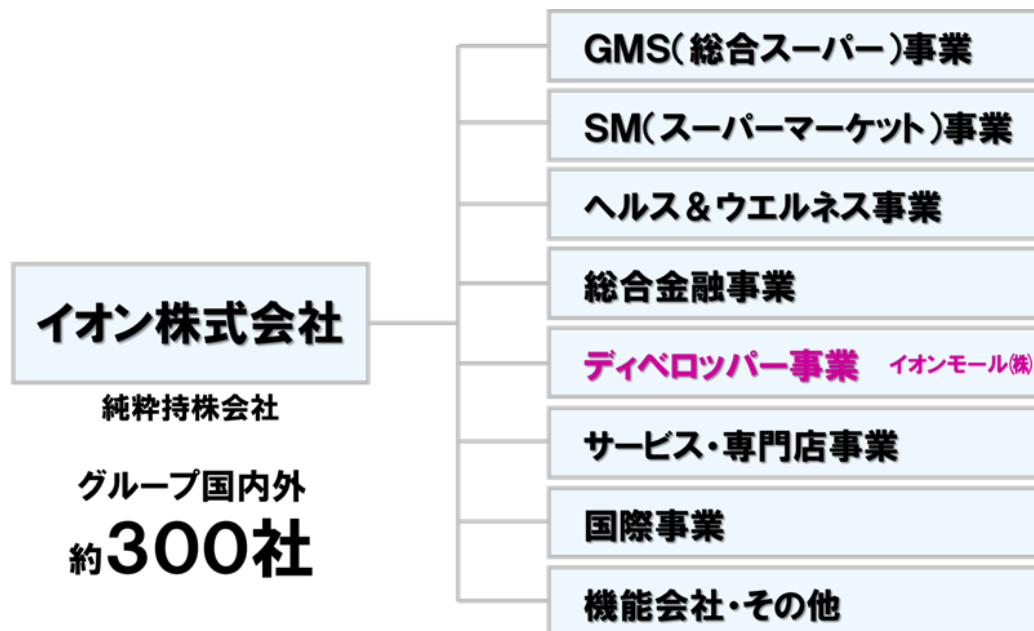
目次

1. 会社概要
2. イオンモールの社会貢献活動
3. 献血推進活動
 - － 1. コロナ禍での取り組み
 - － 2. 献血者数推移
 - － 3. 全社での取り組み
 - － 4. モール独自の取り組み

1. 会社概要



事業内容



社名	イオンモール株式会社
設立	1911年(明治44年)11月
事業内容	大規模地域開発及びショッピングモール開発と運営 不動産売買・賃貸・仲介 [国土交通大臣(3)第7682号]
モール数	199店舗 (国内164/海外35) ※2022年12月15日現在

理念



[基本理念]

お客さま第一

[経営理念]

イオンモールは、地域とともに「暮らしの未来」をつくるLife Design Developerです。

※Life Designとは商業施設の枠組みを越えて、一人ひとりのライフステージを見据えたさまざまな機能拡充を行い、ショッピングだけでなく、人との出逢いや文化育成なども含めた“暮らしの未来”をデザインすること。

[経営ビジョン アジア50億人の心を動かす企業へ]

- ・私たちは、パートナーとともに、地域の魅力を磨きつづける究極のローカライズに挑戦します。
- ・私たちは、一人ひとりがLife Design Producerとして、商業施設の枠組みを越え、新たな「暮らし」を創造する事業領域を拓き、成長し続けます。
- ・私たちは、世界中の拠点をはじめとする全ての資産を活かし、永続的に発展することで、強い財務体質と強固な事業基盤を構築します。
- ・私たちは、革新し続けるプロフェッショナル集団です。
- ・私たちは、お客さまに徹底して寄り添い、生涯わすれえない思い出となる最良の体験を共有します。

「ハートフル・サステナブル」とは

Life Design Developerの経営理念のもと、企業市民として、持続的な社会の実現に向けて、地域・社会に貢献・活性化する取り組み。

イオンモールだけでなく、お客さま、地域社会、パートナー企業さま、株主・投資家さまとともに、より良い社会を目指します。

「ハートフル・サステナブル」ロゴ



☆「イオンモールSDGs提言マーク」の由来・意味

「未来を守るのは人の心」をテーマに、心の象徴であるハートマークをベースに誰にでも温かみのあるデザインとしています。ハートに矢印のあしらいで「循環」を想起させ、再生可能な社会を心でつくろうと呼びかける意味合いを持たせています。

イオンモールのめざす姿

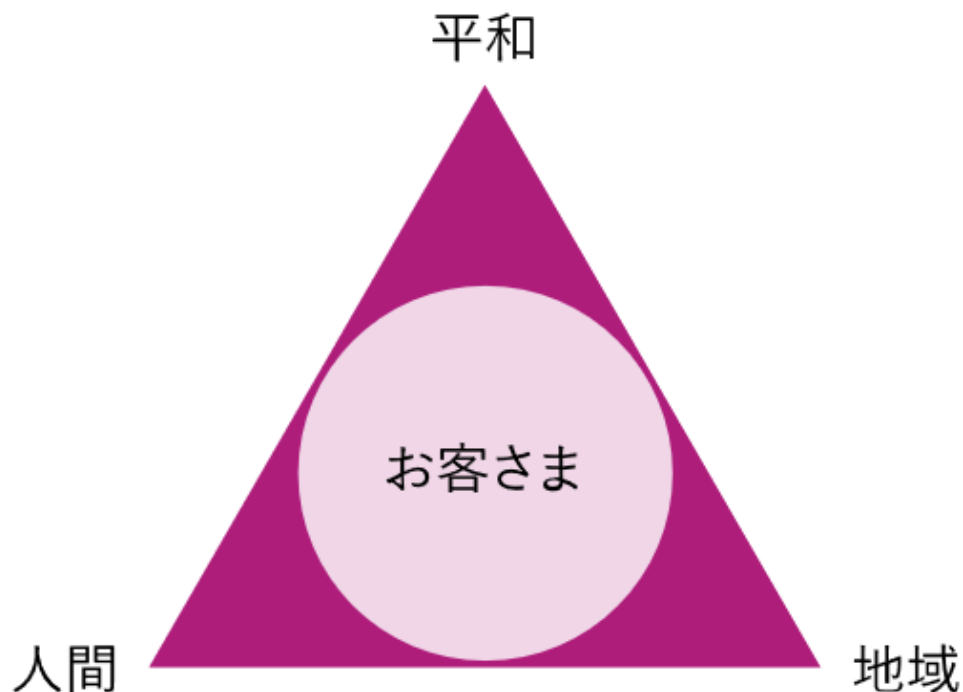
地域・社会の抱える課題に、ソリューションを提供することを事業とし、イオンモールが、地域コミュニティの中核施設・社会的インフラの地位を確立

2. イオンモールの社会貢献活動

イオンモールの基本理念

イオンの基本理念

お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する



イオンは基本理念のもと、絶えず革新し続ける企業集団として、「お客さま第一」を実践してまいります。



イオンの環境・社会貢献の歩み

イオンは、新たなライフスタイルをお客さまとともに

イオンの取り組みは、国連の進める「SDGs」にもつながっています。

イオンは、これまで社会環境や経営環境の変化に対応しながら企業成長と社会の発展の両立を目指すサステナブル経営を推進してきました。持続可能な社会につながるイオンの取り組みは、2016年より国連が定める「SDGs」にもつながっています。



「SDGs」は、2015年9月にニューヨークで開催された「国連持続可能な開発サミット」にて、2030年までに全ての国が取り組むべき世界を変えるための17の目標と169のターゲットを定める「持続可能な開発目標(SDGs)」として採択されたものです。2016年1月1日に正式に発効し、世界中で進められている取り組みが定められています。

「イオン ふるさとの森づくり」開始
1号店となるマレーシアのジャスコマラッカ店
(現イオンマラッカショッピングセンター)

1991年

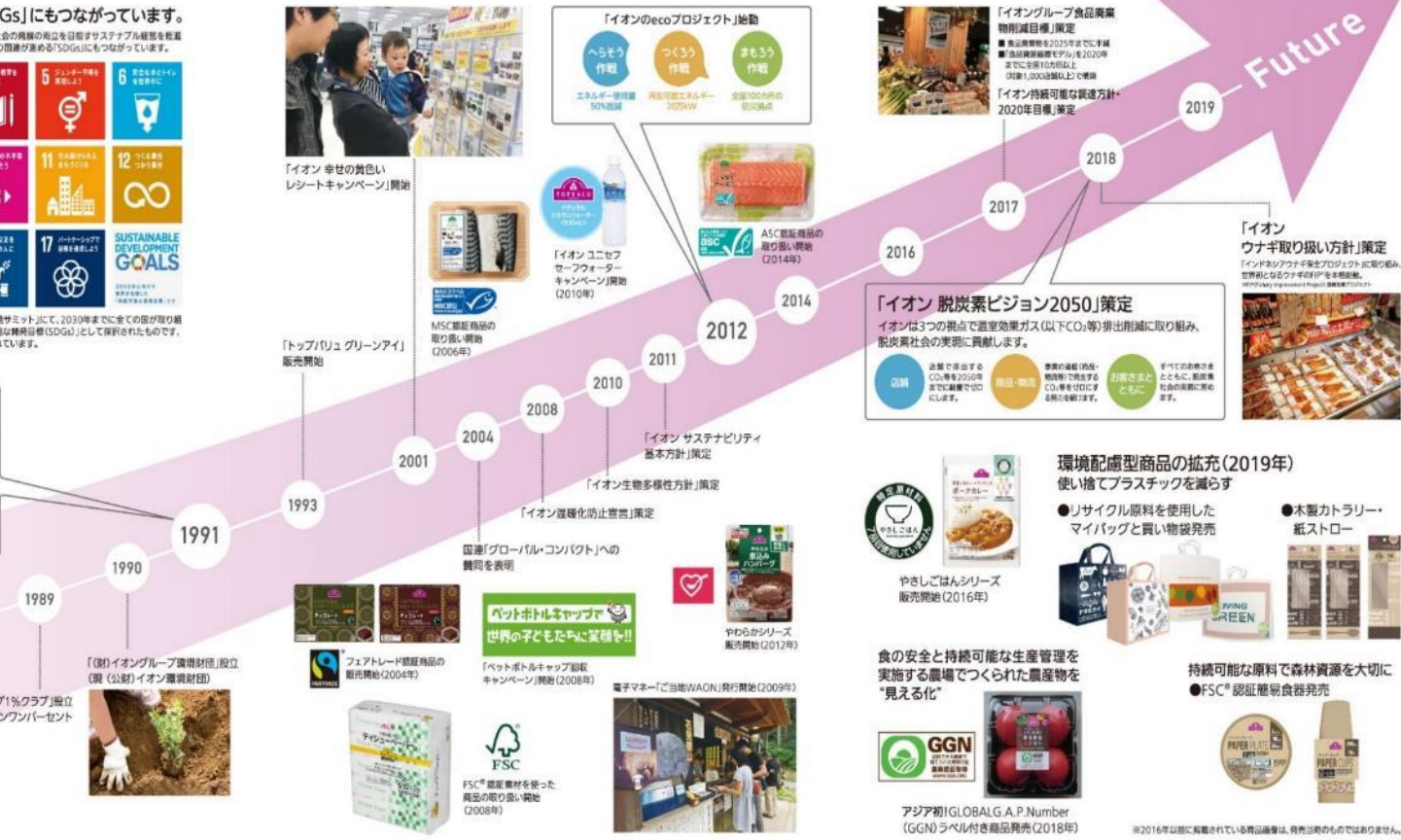
「イオングループ1%クラブ」発足
(現「公財」イオン環境財団)

1990年

「ジャスコ社会福祉基金」設立
(現「イオン社会福祉基金」)

約1,000本の桜を
豊知原町崎市に贈る

1977年



3. 献血推進活動

3-1. コロナ禍での献血活動

2020年4月の緊急事態宣言による臨時休業以降、
営業を再開したモールから献血活動の受け入れを強化しました。



イオンモール高知(高知県)



イオンモールつがる柏(青森県)



イオンモール名取(宮城県)

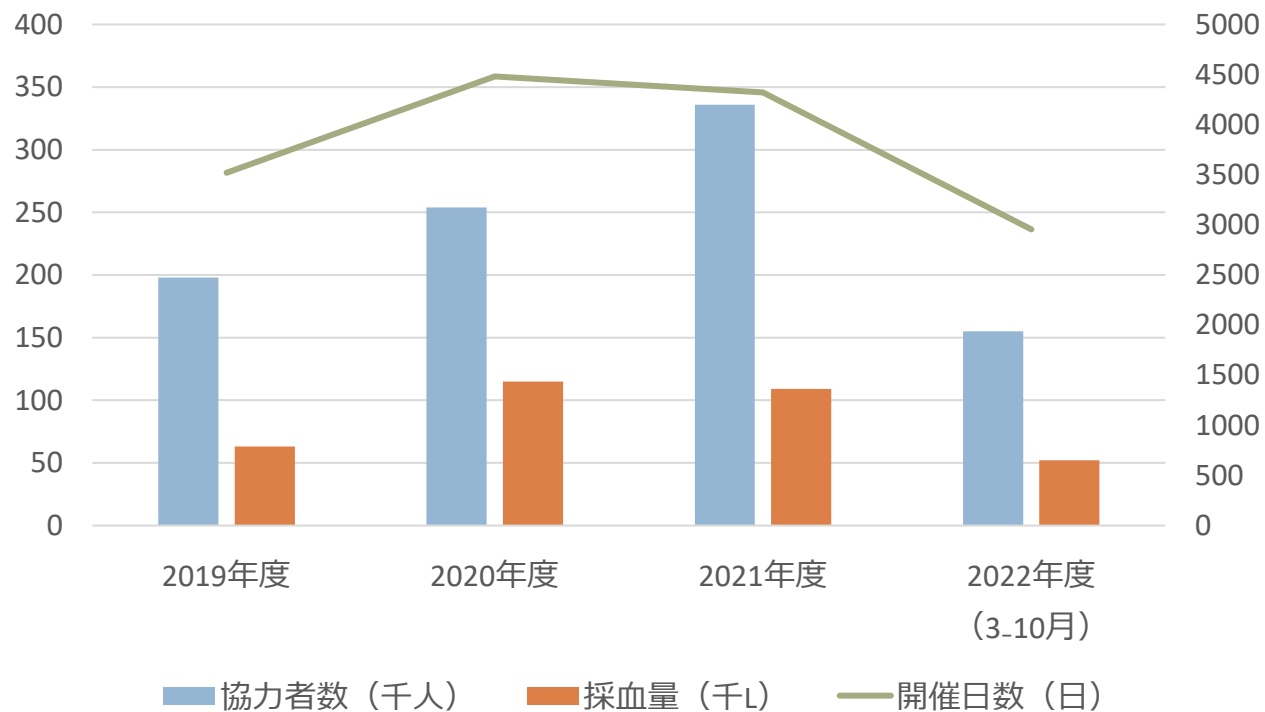


イオンモールナゴヤドーム前(愛知県)



3-2. 献血者推移

グラフタイトル



ご参考：イオンモールでの献血活動について

2019年度	献血協力者	約198,000名	採血量	約63,000ℓ
2020年度	献血協力者	約254,000名	採血量	約115,000ℓ
2021年度	献血協力者	約247,000名	採血量	約82,000ℓ
2022年3月～10月	献血協力者	約155,000名	採血量	約52,000ℓ

※日本赤十字社が全国で実施した献血協力者の約4.3%に値します。

3-3. 全社での取り組み

日本赤十字社×イオンモール 「全国学生クリスマス献血キャンペーン」

開催期間 : 2022年12月3日(土)～25日(日)

開催場所 : 全国31箇所のイオンモール

実施内容 : 『届けよう 命を繋ぐ贈り物』を統一スローガンとし、冬場に減少傾向にある献血者数の増加を図るため、学生が主体となって献血の理解と協力を仰ぎました。



3-4. モール独自の取り組み

イオンモール三川（山形県） 「はたらくクルマ展」での血液運搬車等や献血バスを展示

開催日： 2022年6月12日（日）

目的（地域の課題）：

少子高齢化が進む庄内地域の子供たちに、地域で活躍する“働く車”の体験、及び“車と共に働く大人”との交流を通じ、庄内地方で働く夢を抱いていただき、地域の人口流出に歯止めをかけることにより、地域の発展を目指す。

内容： 実際に献血車の中に入れていただき、見学、説明等の体験を通じ、献血の重要性をこどもたちに理解していただくもの。



3-4. モール独自の取り組み

イオンモール倉敷（岡山県） 献血ステーション（献血者専用駐車場）の設置

平面駐車場内に日本では初めての献血車専用駐車場（2区画）を設置。





ひと、まちも、きらきら。

AEON MALL